

2009年7月号に掲載した「秋田林鉄名橋列伝」を、ちょうど3年経った今号にてグレードアップのうえ、「秋田林鉄名橋列伝 2012」として再録いたしました。グレードアップの内容については更新がベースなのでいささか地味な点が多いのですが（苦笑）、それでも完成度はググッと上がったと思います。

（とはいえ、前のを読んだ方には物足りないかもしれないので、今号にはオマケとして、私がこれまでORJに書いた秋田県内の林鉄レポートをたくさん無料サービスしましたよ）

この再録のきっかけは、つい先日秋田魁新報社が出版した『近代化遺産 国有林森林鉄道全データ 東北編』に刺激された部分が多分にあります。あの本は確かに素晴らしい「データ」ではあるけれど、「近代化遺産」を標榜するには余りにも「現状」に関する情報が少なすぎる！ 秋田にはまだまだたくさんの「遺構＝遺産」が残っているぞ！ そんなもどかしさから、現時点で私が持っている最新情報を詰め込んだ「2012年度版」を作ろうと思ったのです。私はこれを武器に打って出るつもりです!!（珍しく強気ネ…笑）（ヨ）

公私共にハプニングが続きまして、結局今月もお休みさせて頂くことになってしまいました。いろんなことが思い通りに行かないという事は、実にまどろっこしいものであります。いざ！ という時に限って大雨だしなあ……。つ）

「今回は、『相模の国の道志橋』をお送りしました。いかがでしたでしょうか？ 神奈川県の皆様だけでなく多くの方々に「水」を供給している城山ダム（津久井湖）。このダム建設の陰で、移転を余儀なくされた地区の皆様、またダム建設により廃橋となった旧道志橋。『旧』があるから『新』があります。その『旧』に光を当て、先人たちに感謝し今一度、廃道を皆様にご紹介する『日本の廃道』は文化的価値という側面も持っていると思います。読者の皆様も、あなたの胸に眠る『旧』に光を当ててみませんか？ どんな原稿でも、ヨッキレン氏、nagajis氏、TUKA氏はじめ、編集部の皆様に大切に紹介していただいています！ さあ、あなたの『旧』を教えてください。読者の皆様で、『日本の廃道』を盛り上げましょう!!（みんな）

クレジットカード支払い（paypal）の再開に手間取っております。申し訳ありません!!! 車の免許も携帯もなく、電気・ガスを引き落としにしていると「自身を証明する」ことができないことを思い知らされました。来週中には手筈が整うはずですので、もう少々お待ち下さい。（n）

BEAR TYRE